

『Japan Sustainable Brands Index 2024』で3年連続首位を獲得

無印良品を展開する株式会社良品計画（東京都文京区／代表取締役社長 清水 智）は、サステナブル・ブランド ジャパン アカデミックチームが調査実施する『Japan Sustainable Brands Index（以下、「JSBI」）2024』[※]で3年連続首位を獲得しました。

JSBI は、SDGs（持続可能な開発目標）に関する企業のイメージを生活者が採点したブランド調査で、企業の持続可能なブランドとしてのイメージ評価を測る「SDGs 貢献イメージ得点」と、企業の具体的な SDGs への取り組みに対する評価を測る「SDGs 評価得点」の2つのスコアを基に算出されます。良品計画は、SDGs 評価得点と SDGs 貢献イメージ得点の両方で高得点を獲得し、生活者の皆さまからのサステナブルなイメージが安定的に強い結果となったことで、3年連続の首位獲得となりました。

「無印良品」は、1980年の創業当初から「わけあって、安い。」をキャッチコピーに、従来の商品の規格からすると少し外れてしまうような商品の企画からスタートしました。「素材の選択」「工程の点検」「包装の簡略化」の3つの視点を守りながら、実質本位の商品をつくり続けています。

これからも良品計画グループは、「感じよい暮らしと社会」を実現するという企業理念のもと、提供する商品サービスや店舗、活動を通じて、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現に貢献することを目指してまいります。

※販売元：株式会社 Sinc

■参考

JSBI 2024 Report

https://www.sri-sinc.jp/sb/jsbi/JSBI2024_Report_Ver-01.pdf